



長瀬会長のあいさつ



来賓あいさつ（北海道知事）

◆補欠選挙により、理事（空知ブロック）1名および日医代議員1名を選出

◆平成29年度決算につき承認決定

◇総務部◇

第152回定時代議員会を去る6月17日（日）、当医師会館8階会議室において開催した。

冒頭、本間議長により開会宣言があり、議事録署名人（紋別・小林正司代議員、十勝・佐治清代議員）を指名した。その後、長瀬会長より挨拶があった。

挨拶（長瀬会長）

第152回北海道医師会定時代議員会開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。代議員の皆様には日曜日早朝より、ご出席頂きありがとうございます。

また、常日頃道医の諸事業に対しましてご協力ご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

本日は、高橋はるみ知事ご本人が来られてご挨拶いただくことになっておりますが、公務の都合で午後代議員会再会冒頭でご挨拶をいただきます。よろしく願い申し上げます。

北海道医師会は、本年3月の代議員会において平成30年度の事業計画および会計予算を提案し承認を得、それに従って事業を着々と進めております。

本日の代議員会では、はじめに欠員となっている北海道医師会理事ならびに日本医師会代議員各1名の補欠選挙を行い、ついで、平成29年度の事業報告および平成29年度の公益目的支出計画実施報告、監査報告の後、平成29年度決算の審議をいただき、当面の医療政策を報告します。慎重なるご審議の程よろしく願いいたします。

6月初め、カナダで先進7ヵ国首脳会議、所謂G7が開催されました。米国トランプ大統領の米国第一主義の強い主張に世界の協調体制が崩壊しかねない危機的状況にあります。その様な中、12日に行われた米国と北朝鮮の歴史的な対話は、テレビや新聞報

道に見られるとおりの結果でした。これで安心と言うには不透明で、今後の両者の交渉状況に目が離せません。一方、日本の立ち位置が問われる重要な時にあります。

本年4月、デフレ状態を脱却できない中、6年ぶりの診療報酬と介護報酬の同時改定が行われました。共に本体報酬がわずかながらプラス改定となりました。改定後2ヵ月ですが医療機関、介護施設にどれほどの影響があるかおおよその感じが掴めたところでしょうか。来年10月から実施予定の消費税率アップの影響と合わせ、問題です。消費税対応がこれまでのように診療報酬に上乘せではなく、根本的解決が強く望まれています。医療機関それぞれの経営上に差があるでしょうから、どのような方法が良いか、意見が分かれるところであり、日医のリーダーシップが問われることとなります。

最近、都道府県により、異なる診療報酬単価とする、地域別診療報酬の採用の動きが聞かれます。実際に採用されたところはありませんが、財政審・財政制度分科会が医療費抑制の方策として提案したもので、検討しているところもあるようです。診療報酬は全国一律同一条件で統一され、国民皆保険制度を守ってきたことを考えても安易な取り組みは避けなければなりません。日医は強く反対を表明していますが、成り行きに注意が必要です。

超高齢社会にあるわが国の社会保障にとって、高齢者の増加に対し、医療保険の給付率を抑制したり、自己負担を増加させることを財務省は目論んでいます。これも認めるわけにはいきません。

ここ10年、医師の養成増が図られ、数字上医師数の増加が見られますが、新医師臨床研修制度の施行

や、新専門医制度の開始もあり、医師不足と、偏在が問題で、地方では医師増加の実感が得られておりません。一方、最近医師の働き方の問題がクローズアップされ、時間外診療や当直などの医師配置関係が問題化し、医療労働と一般労働に関する考えの違いから医療現場に混乱が起っています。日本の優れた医療制度、国民皆保険制度を持続保持することが極めて重要で、このことから十分考える必要があります。

今日の医学・医療の進歩発展は目覚ましいものがあります。より良い医療の選択も深い知識がなければ難しい時代になりました。

医療者と受療者との相互信頼関係構築のためにかかりつけ医の存在は必要です。また、かかりつけ医も信頼を保つための普段の努力が大切です。日医のかかりつけ医研修制度の後押しを、北海道医師会としても重要な医師会業務ととらえ推進しています。北海道医師会は、道内3医育大学と協働で毎年北海道医学大会を開催しております。各方面から高く評価をされています。多数の学会形式の基礎、臨床研究発表に加えて、医学大会総会は3医育大学の協力で特別講演、その時代のトピックス講演が行われ、聞き応えある素晴らしいものです。是非多くの先生方に参加してもらいたいと思っています。

人生100年時代を迎えた現在、今年から第7次医療計画、第7期介護保険制度計画が始まり、医療・介護の連携のもと、地域包括ケア構築が進められます。多くの立場の関係者が協働で事に当たらなければなりません。その中心で行政と共にリーダーシップを求められるのが医師会です。

23日には日本医師会代議員会が開催され、次期役員選挙が行われます。北海道からは、副会長に中川俊男当会参与、裁定委員に城守前委員、理事に長瀬前理事を引き続き候補者として出しています。会長、副会長、常任理事に加えて、理事も候補者が定数を超えており、いずれも選挙となります。これまでにない状況です。北海道医師会としては、これまで、日医の医療政策を進める上で力を発揮してきた中川俊男候補をなんとしても当選させたいと努力しております。北海道の医師皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

これからの厳しい医療環境を乗り越えていくために、総ての医師が団結し良い医療環境作りに向かっていかなければなりません。会員皆様の強力なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

と述べ、また来賓挨拶（公務の都合により午後の冒頭で挨拶）では、北海道の高橋はるみ知事より祝辞をいただいた。

◇

その後、議案審議に入り、議案第1号「理事補欠選挙の件」、議案第2号「日本医師会代議員補欠選挙の件」の各補欠選挙については、梶良行選挙管理委員長より届出受理状況報告の後、承認した。（選挙結果は、前号掲載のとおり）

次いで、報告（1）平成29年度事業報告については、理事者から詳細な報告が承認され、また、議案第3号「平成29年度決算に関する件」については、関連する、報告（2）平成29年度公益目的支出計画実施報告、ならびに、報告（3）監査報告の後、決算委員会における詳細な審議を経て、提案どおり承認された。

その後、報告（4）当面の医療政策では、「総論」（笹本常任理事）、「集团的個別指導」（橋本常任理事）、「定期予防接種の広域化」（三戸常任理事）、「医師の働き方検討委員会と今後の方向性」（藤井常任理事）について詳細に説明がなされた。

続いて、代表質問4件ならびに一般質問5件を受け、理事者からそれぞれ答弁が行われた。

◇代表質問◇

1. 鈴木 敏 夫 代議員（後志ブロック）
「医師会立准看護師養成所について」
（答弁者：藤井常任理事）
2. 中 島 康 雄 代議員（道北ブロック）
「地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療供給体制の整備について」
（答弁者：藤原副会長）
3. 大 原 正 範 代議員（道南ブロック）
「医学部地域枠推薦の更なる活用」
（答弁者：小熊副会長）
4. 荒 木 啓 伸 代議員（中央ブロック）
「地域別診療報酬について」
（答弁者：藤原副会長）

◇一般質問◇

1. 末 岡 裕 文 代議員（札幌市）
「外国人の健康保険不正使用について」
（答弁者：伊藤常任理事）
2. 小 原 裕 一 郎 代議員（札幌市）
「控除対象外消費税問題について」
（答弁者：岡部常任理事）
3. 野 中 雅 代議員（札幌市）
「たばこ対策について」
（答弁者：後藤常任理事）
4. 立 花 啓 代議員（札幌市）
「医師の働き方改革について」
（答弁者：藤井常任理事）
5. 光 銭 健 三 代議員（渡島）
「ムンプスワクチンの定期接種化について」
（答弁者：三戸常任理事）
・関連発言「おたふくかぜワクチンの定期接種化の要望について」枝村 正人 代議員（札幌市）

最後に、長瀬会長より閉会挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

〈決算関係資料、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉